

2024-25 RIテーマ

ロータリーのマジック



WEEKLY

Rotary

Club of Toyohashi

RI D2760



2024-25 クラブテーマ

集い、学び、そして実践してこそロータリー
～奉仕の受け手と喜びを分かち合おう～

第2回クラブフォーラム「社会奉仕」

社会奉仕委員会担当

フォーラムテーマ

「一人ひとりが実践する社会奉仕活動に向けて」



フォーラム主催者挨拶 佐藤 裕彦 R情報・ラーニング委員長



本日は社会奉仕に関するクラブフォーラムを開催させていただきます。ロータリー百科事典では、フォーラムはクラブ会員による討論会とされており、主催者側からの一方的な卓話

や情報の提供だけで終わらないように進めることが重要と記載されています。この様なことから今回のフォーラムでは、例年通りの卓話型の会員の研修会ではなく、フォーラム本来の姿である、参加者のエッセンスを取り入れた討論会を目指したいと思っております。

本フォーラムでは予め発言者を決めておらず、各テーブルで意見交換を行い、後ほど代表者に発表していただく形となっています。新しい試みですが、是非ご協力の程お願いいたします。

フォーラムリーダー主旨と進行説明 伊藤 恭三 社会奉仕委員長



今回のフォーラムのテーマは「一人ひとりが実践する社会奉仕活動に向けて」です。事前に各テーブルに社会奉仕についてのアンケート用紙を配布させていただきましたので、このアンケート用紙の内容について各テーブルで話し合っていた

だきたいと思っております。また、テーブル毎にファシリテーターを決めさせていただきましたので、その方を中心に進行していただきたいと思っております。今回はフォーラムのスタイルを例年のものから変更いたしました。会員同士で考え、意見を出し合い、協力しながら進めたいと思っております。

ファシリテーターによるまとめ1 河合 珠美 会員



今まで参加したことのある社会奉仕活動については、海岸清掃や530運動、金融経済教育が挙げられました。私自身は、東日本大震災、九州北部豪雨の時にスタジオでバザーを行い、ランドセルやクレヨン、絵の具、鉛筆を寄付させていただきました。

これから参加したい社会奉仕活動については、日本の富士山を綺麗にしていきたいということで、富士山のゴミ拾いという意見が出ました。

自分が会長だったらどのような社会奉仕活動を実践したかについては、子ども向けブラインドサッカーという意見が出ました。目隠しをしてサッカーをすることで、目の見えない子の気持ちが分かるというものです。また、使用済みの切手など、捨てるものを収益化して寄付するという意見も出ました。

教育やスポーツを通じて、子どもが学べる環境を作ること社会貢献の一部だと考えており、多くの子どもがふれあう機会を提供することが子ども達への支援になると考えています。今週末に初めて運動が苦手な子ども向けに、運動能力向上教室を行います。今回は収益化しますが、その後は子ども食堂に寄付する予定です。これも社会奉仕活動になるのなら、一つの意見かと思っております。

ファシリテーターによるまとめ2 西島 豊会員



これから参加したい社会奉仕活動に関しては「可能性があれば全て挑戦すべき」というのが総意でした。また、その活動に参加したい理由についても、「奉仕団体だから当たり前」という意見でまとまりました。

今までどのような社会奉仕活動に参加したかについては、朝倉川育水フォーラムに始まり、表浜海岸清掃やボーイスカウト、ユニセフのマンスリーサポート等、個人と団体の両方の側面で様々な可能性があるかと思っております。また、中部電力で行われている「森林保全活動」など会社を挙げて行われている活動もありました。それに加えて、各地で起きている震災や災害に関しての支援については幅広く意見が出ました。

私事です。来月に創業100周年を迎え、大相撲豊橋場

所の支援をさせていただきますが、ちびっ子相撲というのも一つの支援の形かと思えます。

自分が会長だったらどのような社会奉仕活動を行うかについてですが、豊橋RCとしては既に資金的な支援は行っているの、今後はそのことについて認知していただくことは必要なのかという議論をするべき時期に来ているのではないかという話題になりました。ロータリーには「陰徳の美」という言葉がありますが、それを踏まえた上でクラブのスタイルを考えることが必要ではないかと思えます。

ファシリテーターによるまとめ3 山口耕平 会員



過去に参加した社会奉仕活動については、この地に映画祭を根付かせる活動や、朝倉川育水フォーラム、自然を守るということで穂の国森づくりの会、以前豊橋RCとして行ったのんほいパークでの植樹、現在行っているペットボトルキャップの回収、地域貢献ということで会社で月に一度行っている周辺清掃が挙げられました。

自分が会長になったらやりたいことについては、発表しにくいですが「会長になった時に一生懸命決めるので今は内緒です」という話になったため、その時を楽しみにしたいと思います。

R1の方針には「I Serve」というものがありますが、数年前からそれが変わってきているように感じるという話が出ました。具体的に「寄付をしてください」と求められることが強くなってきたような印象があります。

「I Serve」は自主的に行うものですが、ノルマ的に寄付を集めなければいけないというR1の方針があります。今後豊橋RCの方向性をどうしていくべきか考えなければいけない時期に来ていると思えます。

ファシリテーターによるまとめ4 伊藤健一 会員



今まで参加したことがある社会奉仕活動については、530運動や子ども食堂が挙げられました。話の中で、子ども食堂は子どもとふれあうことができ、530運動は大人同士知らない人達がふれあうことができるという意見がでました。これが一番大切な事だと思います。

これから参加したい社会奉仕活動については、障がいのある方達にどんな形でも奉仕をしたいという一本で皆さまの意見がまとまりました。

自分が会長になった時にどのような社会奉仕活動を行うかについては、会員にとって意味のある社会奉仕を行いたいと思えます。社会奉仕活動には間違いなく自己満足もあります。そして、矛盾もあります。ゴミは拾わないと無くなりません。豊橋は530運動発祥の地ですが、ゴミ集めの地でもあるということを皆さまに伝えて終わりたいと思えます。

ファシリテーターによるまとめ5 井上泰宏 会員



参加したことがある社会奉仕活動について、企業が先立って企画してそれに参加する形のものや、ローターアクトクラブが行っている海岸清掃、防災大学シンポジウム、医師会での生活保護の指導、青年育成委員会での活動が挙げられました。

社会奉仕活動というのは非常に難しく、個人で行うことと社会で行うことがあります、やはり社会で行うことが社会奉仕活動ではないかという話が出ました。個人で行うということは、下手したら偽善ではないかと思われる可能性があると思えます。社会奉仕というのは、ある程度道しるべをしていただいたところに参加する、参加型社会奉仕というのが今のところ良いのではないかと思えます。

アドバイザーによるまとめ 松井孝悦 アドバイザー



今日のフォーラムの資料をいただいた時に、今までのフォーラムと全く違うやり方で、成功するか失敗するか賭けだと思っていましたが、本日は大成功だったと思えます。皆さま積極的に議論に参加され、どのテーブルもとても盛り上がり、素晴らしいフォーラムになったと思えます。

社会奉仕には様々な観点があり、個人や組織など様々な形があるため、各テーブルでバラエティーに富んだ話ができたのではないかと思えます。これからは「ロータリーの」という括りを一回外し、豊橋RCとして社会奉仕について更に広い概念で捉え直し、他の団体との連携も考えながら活動していくべきだと思えました。

お礼の言葉 伊藤 恭三 フォーラムリーダー

本日のフォーラムは各テーブルでのディスカッションという新しい形で行いました。初めての形式だったため戸惑いや、深く考えさせられる点もありました。本日は、各テーブルのファシリテーターの皆さまにまとめていただいたおかげで、様々な意見を聞くことができたと思えます。私自身、勉強になりましたし、皆さま一人ひとりが考えることができたフォーラムになったと思えます。本当にありがとうございました。

フォーラム主催者閉会挨拶 佐藤 裕彦 R情報・ラーニング委員長

本日の話し合いの間に各テーブルがどのような雰囲気で行われているか見ていましたが、皆さま楽しそうに議論されていて、この企画を行って良かったと感じました。また、私は三河市民オペラという活動を行っているため「誰も寝てはならぬ」を密かにミッションとしていましたが、達成することができて良かったと思えます。

次回の職業奉仕のフォーラムも今回の様な形式で開催する予定ですので、皆さま楽しみにご参加いただけたらと思えます。本日は本当にありがとうございました。

本日は私が参加した二つの行事の報告に時間をかけ、会長挨拶に代えさせていただきたいと思っております。

9月14日、15日は豊橋RAC創立50周年記念事業である「表浜海岸清掃」に豊橋RCから私を含め10名が参加しました。他にも豊橋商業高等学校IACの皆さんや、市内ロータリークラブにも協力していただき、総勢90名を超えるご参加をいただきました。

初日は午前中に赤羽根海岸の清掃、午後は宿泊先の江比間野外教育センター青年の家にて、あかばね塾の渡辺幸久様を講師にお迎えして「表浜のアカウミガメと漂着ゴミとその対策」という講演を拝聴しました。二日目は午前、午後の約1時間、海岸清掃を行いました。

人間の営みにより排出されたマイクロプラスチックは、残留性有機汚染物質を吸着し、それを海にいる生物が摂取してしまい、それらをヒトが食べることによって人体に害がおよぶことが懸念されています。プラスチックを発明した人間、ゴミを平気でポイ捨てした人間には過去の過ちの清算と、今後の行動を大幅に軌道修正していく義務があると思っております。迷惑を被っているのは人間以外の全ての生物と言っても良いと思っております。そのようなことを学ぶことのできた有意義な二日間でした。



続きまして、9月23日に恒例の松本南RCとのゴルフによる交流会が開催されました。会場は静岡県富士宮市の朝霧ジャンボリーゴルフクラブで、「ポリオ根絶チャリティコンペ」として開催しました。

会長として挨拶した際、38年前に交換し合った「友好の楯」の写真を松本南RCの皆さまにご披露し、交換の経緯を少しだけお話し、写真をお渡ししてきました。

参加した会員それぞれが賞品やお土産と共に、松本南RCの皆さまとの新たな出会いと楽しい思い出を作ることができた楽しい2日間でした。



幹事報告

青木 良浩 幹事

1. ロータリーマガジンが届いています。

- 本日のフォーラムを楽しみにしております。伊藤恭三奉仕委員長、よろしくお願いします
紅林 友昭 会長 青木 良浩 幹事
- 本日クラブフォーラムを主催させていただきます
佐藤 裕彦 R情報・ラーニング委員長
- 本日フォーラムを担当させていただきます
伊藤 恭三 社会奉仕委員長
- 伊藤恭三社会奉仕委員長、本日のフォーラムを楽しみにしています
佐々木 利政 井口 貴嗣 井上 泰宏 笠原 元樹 各会員
- 9月14日・15日、豊橋RAC創立50周年記念事業にご参加くださった皆様、9月22日・23日、松本南RCとの交流会にご参加くださった皆様、ありがとうございます
紅林 友昭 会長 青木 良浩 幹事
- 豊橋RAC50周年事業、ウミガメ講習と海岸清掃に参加してまいりました。ありがとうございます
紅林 友昭 会長 青木 良浩 幹事 青木 公貞 会員 佐藤 裕彦 R情報・ラーニング委員長 大塩 啓太郎 部会長 久保田 充三 インターアクト委員長 柳原 茂 会員 植村 忠慶 会員 疋田 涼 ロータリーアクト委員長 金子 幸義 青少年奉仕委員長 宮本 順子 会員
- 9月19日クラブ運営委員・会報委員で合同会議を行いました
小笠原 貴洋 クラブ運営委員長 中田 昌宏 クラブ会報委員長
- ペットボトルのふたの収集を社員に声掛けしたら、相当の数が集まりました。エレベーターに乗せるのに竹内さんに手伝って貰いました。お礼申し上げます
青木 公貞 会員
- 松本南・豊橋RC交流ポリオ根絶チャリティーコンペを9月28日に富士山の麓、朝霧ジャンボリーゴルフクラブにて豊橋より観光組含め23名、松本南からは13名参加で行いました
紅林 友昭 会長 佐々木 利政 縣 政行 牧野 渉 各会員 参加会員23名
- 松本南との交流コンペと同日に、豊橋RCゴルフ会が行われました
宮田 正人 富田 佳央 岩瀬 清 井上 泰宏 平林 邦幸 小林 敏博 各会員
- ケガにより55日間入院しましたが無事退院しました
笠原 元樹 国際奉仕委員長
- 初めてニコニコの発表をさせていただきました
井口 貴嗣 ニコニコ委員 (順不同)

お誕生日おめでとうございます

山本 光伸 会員(9月29日) 平林 智子 さん(9月29日)
花田 邦司 会員(10月2日)

歌

ソングリーダー 宮本 順子 会員

「故郷」

本日のビジター

豊橋北RC 2名 豊橋ゴールデンRC 3名
計 5名

出席報告

長濱 貴彦 出席委員長

当日出席者 58名 計算会員数 88名中30名欠席
総会員数 109名 出席率 65.91%

例会予定

次回のプログラム

10月3日(木) 米山月間にちなんで

- 10月10日(木) 卓話「豊橋市特産次郎柿を世界の『JIRO』へ」
- 10月17日(木) 休会
- 10月24日(木) 結婚記念祝例会

写真・音声の視聴はこちらから▶

事務局：豊橋市花田町石塚42-1 豊橋商工会議所内

